

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の多岐にわたる進路希望に応じた多彩な教育課程を編成し、ICT利活用授業の研究を推進する。</p> <p>②生徒の主体的な行動を促し、生徒会活動やボランティア活動を充実させ、学校行事を活性化させる。</p>	<p>①新学習指導要領実施に向けた教育課程の充実・改善を図る。</p> <p>②活気のある学校生活を維持するため、生徒会活動のさまざまな活動を支援する。</p>	<p>①令和4年度入学生の2学年以降及び新校の教育課程をカリキュラム検討委員会及び新校準備委員会で検討し編成する。</p> <p>②感染症予防対策とまん延防止対策の徹底を図りながら、生徒が主体的に活動できるよう行事のあり方を工夫する。</p>	<p>①学校教育目標の実現に資する特色ある教育課程を編成できたか。</p> <p>②学校行事において生徒が主体的に活動できたか。(アンケートによる評価を実施)</p>					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣を定着させるとともに、規範意識を高める。</p> <p>②部活動を活性化し、生徒の自主性を育むとともに、教育相談を充実させ、インクルーシブ教育の視点に立った個に応じた支援を行う。</p>	<p>①生徒の規範意識を高め、いじめを含む問題行動の未然防止や交通安全指導に保護者とともに取り組み、安心安全な学校づくりをすすめる。</p> <p>②部活動の活性化に向け、部活動への興味関心を高め、活発に活動できるように支援するとともに、教育相談の手法を活用し、きめ細かい支援に取り組む。</p>	<p>①SMAP(城山身だしなみ挨拶プロジェクト)、保護者と共に行う生活見直し週間、登下校指導等で規範意識の醸成を図る。</p> <p>①いじめ防止と早期発見へ年2回の学校生活アンケートを実施する。</p> <p>②部活動体験期間を学校行事としておこない、より多くの生徒が参加できるように取り組む。</p> <p>②定期的に生徒相談担当者会を開き情報を共有し組織的に支援する。</p>	<p>①基本的な生活習慣が定着したか。前々年度より問題行動、遅刻者、交通事故数が減ったか。</p> <p>①学校生活アンケートがいじめの早期発見や防止に有効であったか。</p> <p>②前年度より部活動加入率が上がったか。</p> <p>②生徒相談担当者や、担任、SCなどを交えて組織的な支援がおこなえたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①教科や総合的な探究の時間の学びを通じて、自分なりの職業観や勤労観を身につけ、自らの夢や希望を見出せるよう支援する。 ②多様な進路希望に応じたキャリア教育を実践し、進路実現を図る。	①自己の適性や能力を理解し、様々な職業を知り、勤労観を育て、自分の進路を決定する力を身につけさせる探究活動を充実させる。 ②生徒一人ひとりが主体的に進路を決定するために、適切な情報提供をおこなうとともに、学習意欲の向上を図る。	①進路適性検査やワークブックを活用し自己理解を深め、職業調べやガイダンスを通して職業観、勤労観を育む取組をおこなう。 ②進路通信の発行や進路情報の掲示など、生徒に適切な情報を提供する。また、1年生から小論文指導や英検対策を行う。	①生徒は自己理解を深めることができたか。職業観、勤労観を育む取組をおこなったか。 ②進路通信の発行や進路情報の掲示をおこない、生徒の進路意識が高まったか。また、1年生から小論文指導や英検対策をおこなったか。					
4	地域等との協働	①外部資源を活用して地域と共に歩む学校づくりを目指し、地域との協働・連携を一層強める。 ②総合的な探究の時間や部活動、ボランティア活動を通じて、地域と連携の充実を図る。	①本校の情報を地域に発信するとともに、生徒がボランティア等で地域に参画することをとおして地域との連携を深める。 ②地域について学習を深めたり、地域の教育資源を活用した学習を工夫する。	①Webサイトを活用し積極的に本校の情報を発信する。また、地域の行事や活動に生徒会や部活動、有志の生徒が参加、協力する。 ②総合的な探究の時間などをおして地域に関する学習や地域を学ぶ学習の機会を増やす。	①月1回以上Webサイトを更新し、必要な情報を発信したか。 ①生徒が地域の行事や活動に延べ10名以上参加したか。 ②地域の学習資源を活用できたか。					
5	学校管理 学校運営	①学校環境の整備と防災・防犯意識を高め、安全教育を充実させる。 ②事故・不祥事防止の徹底を図るとともに、教員のワークライフバランスを推進するために、働き方改革を推進する。	①防災に係る学校環境の整備をおこない、コロナ禍においても防災教育や安全教育を充実させる。 ②研修会等を通して不祥事防止の職員意識を高め、不祥事ゼロを目指すとともに、働き方改革の実現に向けた意識の醸成を図り、働き方改革を推進する。	①防災図上訓練(DIG)を実施し、生徒の自主的な防災意識の醸成を図り、日頃から避難経路を確認させる。 ②不祥事防止研修会等を月に1度は実施し、当事者意識の醸成を図る。 ②神奈川県教員の働き方改革に関する指針及び規則の研修をおこない働き方改革を推進する。	①生徒自身が防災に係る意識を高めることができたか。耐震工事が進む中で、避難経路が確認できたか。 ②不祥事防止研修会等を12回以上実施し、不祥事ゼロを達成したか。 ②働き方改革に関する研修会を実施し、職員の働き方改革に対する意識が高まったか。					